

いただいたご質問と回答

1 ReCap で作成したデータを iPad や iPhone で見る方法がありますか？

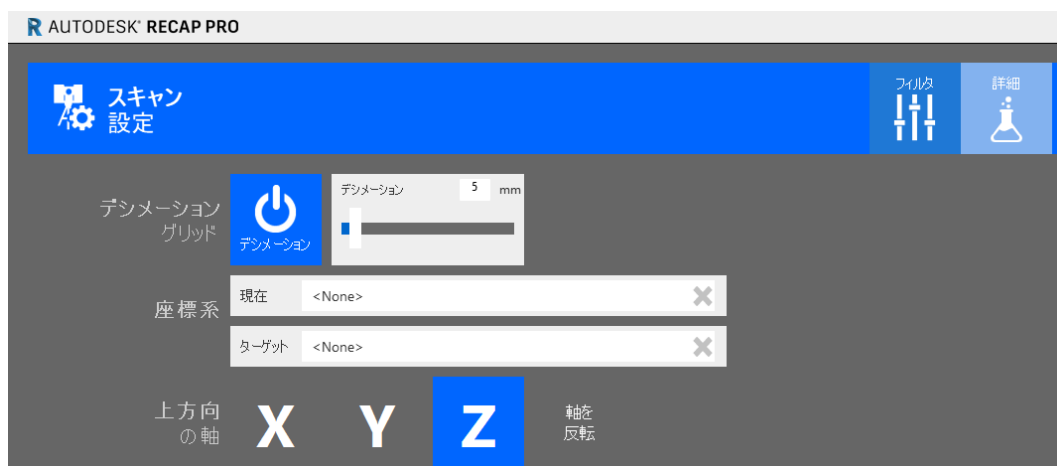
オートデスクが提供している iOS アプリで、ReCap の点群ファイルを表示できるものではありません。

2 点群処理を行いません。座標系も設定しているのですが、まったく処理をしません。初期設定でなにか必要なことはありますか？データに問題があるのでしょうか？

ReCap Pro でレーザースキャナからの点群ファイルを読み込んでも何も表示されないということでしょうか？お使いの PC の動作環境の確認と、ReCap Pro を再インストールしてみてください。それでもダメな場合はデータに問題があるかもしれません。

3 点群データから 3D モデルを作成するため、点群のデータが大きい(数十～数百 GB ぐらい)のですが、ReCap に読み込む段階で時間が異常にかかります。何か改善策はありますか？点群から 3D モデルを精密に作成したい為、点群の間引きはしたくない(点群＝測量結果としての扱い)です。

ReCap Pro を最新バージョンにして、試してみてください。点群データが巨大であれば、それだけ時間はかかるので、[デシメーショングリッド]の値を大きくして点群の量を減らすことも考慮してみてください。



4 やはり ReCap のマニュアルが欲しいです。

英語になってしまいますが、[オンラインヘルプ](#)はあります。ReCap Photo については、「[CIM/i-Construction トレーニング教材](#)」内の「UAV 写真からの 3D モデル作成と土量算出」にテキストがあります。

5 クラウドクレジットとは具体的にどのようなものですか？

クラウドクレジットとは、オートデスクの特定の Web サービスに使用される計測単位です。クラウドクレジットは、レンダリングの作成やシミュレーションの実行といった特定のタスクを履行するために必要となります。指名ユーザには、100 個別クラウドクレジットが 1 度だけ付与されます。契約単位で割り当てられ、その契約の指名ユーザで共有利用可能な共有クラウドクレジットを追加購入可能です。

6 クラウドクレジットの価格を教えてください。

価格は、オートデスク認定販売パートナーにお問い合わせください。

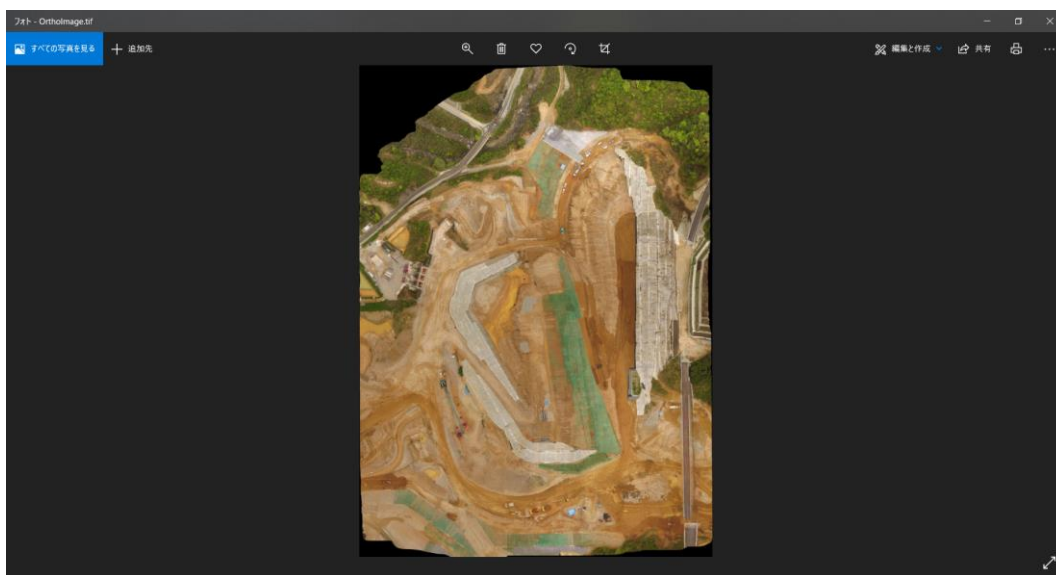
7 InfraWorks で点群データを取り込み、フィーチャーを作成する手順が知りたいです。

点群を InfraWorks に読み込み、地表面や地物のモデル作成ができるとのことでしたが、手順など詳細について教えていただけますでしょうか。

InfraWorks のオンラインヘルプ「[点群から地形を生成するには](#)」を参照してください。同じくオンラインヘルプに「[点群データから地形およびモデルフィーチャを生成する\(ビデオ\)](#)」の動画もあります。

8 写真からオルソ画像作成が可能とのことですが、同様なことが出来るソフトをみかけますが、画像がとけたようになっていてものが多く感じます。本製品を使用した場合の、品質はどのようなものになりますでしょうか？

セミナー中に操作していた写真から生成されたオルソ画像は、13503 x 18957 ピクセルの TIF ファイルで以下のようなものになります。これは「[CIM/i-Construction トレーニング教材](#)」内の「UAV 写真からの 3D モデル作成と土量算出」のデータセットにも含まれているので、ご確認ください。



画像が溶けたようになっているというのは、オルソ画像ではなく、3D メッシュファイルの方かもしれません。モデルを生成するのに十分な写真がない場合にそのような結果になることがあります。

- 9 ドローンでの撮影画像でしたが、撮影高度が高高度になった場合も処理可能でしょうか。※例えば、航空測量で使用する実機の航空機で撮影した画像等・・・高度が上がれば品質が落ちる等ご教示いただければ幸いです。処理可能なデータ容量(制限)もありますでしょうか。

航空機で撮影された画像でも適した画像であれば処理可能です。ReCap Photo の Aerial モードで扱える写真は、最大 1000 枚までになります。

- 10 構造化されていません というエラーが出て面を抽出することができません。測量するときの設定をどのようにすればいいか教えてください(対応している機器が必要なら機器を教えてください)。点群から面抽出を依頼され、構造化データの件を説明できても対策法を提示できなくて困っています。構造化データに対応している機器一覧があれば非常に助かります。構造化点群データに対応したレーザースキャナとファイル形式を利用いただく必要があります。Faro、Leica、Z+F、Riegl、Topcon、Trimble のレーザースキャナで、FLS、PTG、PTX、ZFS、CLR、RSP、RDBXなどのファイル形式が構造化点群データに対応しています。具体的な機種などは、各 3D スキャナメーカーにお問い合わせください。

- 11 点群で取得した道路の路面標示(白線)から、Civil3D を活用して、線形を作成することは可能でしょうか。

Civil 3D では、点群からサーフェスを作成するのみの機能になるのでできません。

- 12 点群を色別に抽出することは可能でしょうか。

色別に抽出することはできません。

- 13 AEC Collection での ReCap と本日説明のあった ReCap Pro は別ソフトで別途バージョンアップに費用が掛かるのでしょうか。

AEC Collection に含まれているのは ReCap Pro で同じものです。本日紹介した ReCap Pro の内容はすべてご利用いただけます。

- 14 ドローン画像から作った点群が2つありますが、標高精度が悪く、高さ方向にズレが生じています。両方を ReCap に取り込んでから、片方の点群をもう片方に接続するように動かすことが出来ますか？

ReCap Pro では自動/手動レジストレーション機能がありますが、読み込んだ後に移動させる

ことはできないので、ReCap Photo で写真から 3D データを作成する際に、GCP(グランドコントロールポイント)を使用して、位置の精度を高めるはかがでしょうか。

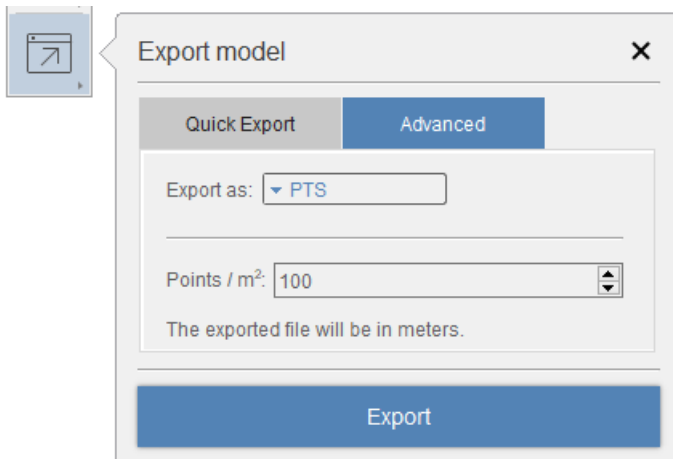
15 iPhone で取り込んだ点群データをモデル化し Revit でファミリとして使う事は可能でしょうか？

Revit には点群からモデルに変換する機能はなく、ファミリエディタで点群をリンクすることもできないので、できません。

16 Recap Photo で作成した点群密度を 50cm × 50cm 等の間引きする方法を教えてください。点群データを Las/csv/txt/xyz にエクスポートできないでしょうか。

問 3 の回答にあるように、ReCap Pro で点群を読み込む際に、デシメーショングリッドの値を大きくすることで、点群の量を減らすことが可能です。

また ReCap Photo で 3D メッシュを pts ファイルに書き出すときに、点の数量を指定できます。



ReCap Photo で写真から 3D モデルの作成時に生成される点群ファイルは、rcs ファイルのみです。ReCap Pro から書き出しできる点群ファイルは、rcp、rcs、pts、e57 のみとなります。

—以上—